

2024

夕映えゼミナール

知る楽しみは、生きる活力！

昨年は新川と広通川、赤塚と佐潟をテーマに、郷土の歴史や地理を学びました。今年度は越後平野全体に視野を広げます。西蒲原の悪水除去の大仕事には、実は「呼び水」となる大干拓事業がありました。それが「紫雲寺潟」(塩津潟)の干拓です。

17世紀の江戸時代、現在の新発田市紫雲寺地域、胎内市塩津地域には、約2,000ヘクタール(東京ドーム427個分)にも及ぶ広大な湿地が広がっていました。これが、塩津潟(紫雲寺潟)です。しかし日本海側の砂丘地で堰き止められ、加治川、信濃川を経て新潟町まで流れていました。

幾たびの挑戦で砂丘を掘り割り、長者堀(落堀川)による排水が成功し、新田開発が爆発的に広がりました。この大事件が、西蒲原の悪水排水に大きな影響を及ぼしました。江戸時代、元禄から享保にかけての世紀の大事業をご一緒に覗いてみませんか！

主催

夕映えの会

フィールドワークご案内

第1回 越後平野の干拓史

北蒲原から西蒲原へ



7月21日(日)

12時 コミセン駐車場出発 16時 帰着

移動 マイクロバス

車内昼食(各自、おにぎりなどご持参下さい)

ご案内

加藤功さん(越後新川まちおこしの会・世話人)

参加費 500円

募集人員 27人(先着順)

お申込み 神立 090-6455-3433

見学先 紫雲寺公民館 加治川治水記念公園 金比羅神社

帰途 海につながる川(放水路)

落堀川、加治川、新発田川放水路、福島潟放水路、新井郷川、阿賀野川を見ながら帰ります。



現在の落堀川(長者堀)

新発田市ホームページより

第2回 フィールドワーク
横田切れと大河津部分水
9月1日(日)12時出発
見学先 横田切れ公園
西川の始まり
大河津分水資料館
樋首山隧道
案内 加藤功さん

第3回 フィールドワーク
新川河口排水機場と石碑群
川の立体交差
10月20日(日)13時出発
座学 内野まちづくりセンター
案内 加藤功さん

第4回 座学 西コミセン
西蒲・新潟の用排水体系
西川・広通川・新川
11月17日(日)14時
講師 西蒲原土地改良区 資料室
私たちの地域の用排水路の体系
を過去と現在、未来を切り分けな
がら、農地のプロ・緑ネット西蒲
の職員が縦横に語ります。